

水痘（入院例に限る。）発生届

名古屋市保健所長（ 区） 様

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※) () -

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の類型	2 性 別	3 診断時の年齢（0 歳は月齢）
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体	男 ・ 女	歳（ か月）

病 型	その他の検査方法（ ）
1) 検査診断例 2) 臨床診断例	検体（ ）
4 症 状	検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ）
・発熱 ・発疹 ・肺炎 ・気管支炎 ・熱性痙攣	・臨床決定（ ）
・肝炎 ・膿痂疹 ・蜂窩織炎 ・敗血症	6 初診年月日 令和 年 月 日
・脳炎 ・髄膜脳炎 ・小脳炎 ・小脳失調	7 診断（検案(※)）年月日 令和 年 月 日
・急性呼吸窮迫症候群（ARDS）・急性散在性脳脊髄炎（ADEM）	8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日
・根神経炎 ・急性腎不全 ・小腸穿孔 ・心膜炎	9 発病年月日（*） 令和 年 月 日
・播種性血管内凝固症候群（DIC） ・多臓器不全	10 死亡年月日（※） 令和 年 月 日
・内臓播種性水痘 ・妊婦水痘 ・免疫不全	11 感染原因・感染経路・感染地域
・他疾患入院中の発症	①感染原因・感染経路（ 確定・推定 ）
・後遺症（ ）・その他（ ）	1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった水痘患者・带状疱疹患者・状況： ）
5 診 断 方 法	2 接触感染（感染源となった水痘患者・带状疱疹患者・物の種類・状況： ）
・分離・同定による病原体の検出	3 院内感染（感染伝播の状況： ）
検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・髄液・その他（ ）	（入院していた理由（疾患名） ）
検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ）	4 その他（ ）
・蛍光抗体法による抗原の検出	②感染地域（ 確定 ・ 推定 ）
検体：水疱内容液・水疱基底部拭い液（水疱内剥離感染細胞）・その他（ ）	1 日本国内（ 都道府県 市区町村）
検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ）	2 国外（ 国 詳細地域 ）
・検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出	※ 複数の国又は地域が該当する場合は全て記載すること。
検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・髄液・痂皮・その他（ ）	渡航期間（出国日 年 月 日・入国日 年 月 日
検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ）	国外居住者については 入国日のみで可
・血清 I g M 抗体の検出	③水痘ワクチン接種歴
検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性・判定保留 ）	1 回目 有（ 歳）・ 無 ・ 不明
抗体価：（ ）	接種年月日（ S・H・R 年 月 日 ・不明）
・ペア血清での抗体の検出	製造会社/L o t 番号（ / ・不明）
検体採取日（ 1 回目 月 日 2 回目 月 日 ）	2 回目 有（ 歳）・ 無 ・ 不明
抗体価 （ 1 回目 2 回目 ）	接種年月日（ S・H・R 年 月 日 ・不明）
結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇	製造会社/L o t 番号（ / ・不明）
検査方法：EIA ・ IAHA ・ NT ・ CF ・ その他（ ）	

この届出は診断から7日以内に行ってください

（1，2，4，5 及び 11 欄においては該当する番号等を○で囲み、3 及び 6 から 10 までの欄においては年齢又は年月日を記入すること。

（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

（*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4 及び 5 欄においては、該当するもの全てを記載すること。）